

次の時代へ豊かな郷土の自然を伝えるために…



ハクセンシオマネキ

こぎがわ きれいな 近木川汽水ワンド

自然を学ぼう!!
触れ合おう!!

今後、愛称を募集予定



ヒメケフサイソガニ

わたし こぎがわ きょうどふうけい ひがた 私たちの近木川に郷土風景の干潟をよみがえらせましょう

白い砂浜と青い松の美しい二色の浜に「汽水ワンド」が完成しました。
子供たちの「遊びの場」や地域の「憩いの場」として親しまれるように、また近木川流域全体での「川づくりの拠点」となるように、一緒に干潟を育てていきましょう。

カニや稚魚が 集まり始めました



近木川は平成5年と9年に、全国二級河川水質調査でワースト1になりました。これをきっかけに地域の皆さんの水質改善に向けた取り組みが活発になり、地域からの「汽水ワンド・干潟再生」の提案を受けて、平成15年から整備が始まりました。この度「ワンド」が完成し、これから「ワンド」の中に干潟がつくれ、様々な生き物が棲みつくの待ちます。「ワンド」では、水面近くでカニや稚魚などの生き物を観察でき、隣接する二色の浜公園の散策も楽しめます。ぜひ一度いらしてください。



近木川汽水ワークショップの様子



地元の小学生による環境調査



現在の近木川汽水ワンド

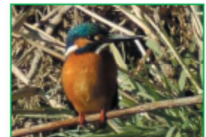
干潟には、めずらしい生き物たちが 棲みつきます



●ハクセンシオマネキ
【エビ目(十脚目)スナガニ科】
こちらは横長の長方形で約20mm。オスは片方のハサミがとて大きく白っぽい。干潟の砂にそれぞれの巣穴を掘って集団生活している。



●ヒメケフサイソガニ
【エビ目(十脚目)モクズガニ科】
こちらは約10mmの小さなカニ。オスメスともハサミに毛が生え、こちらに明るい帯がある。河口近くの干潟でカキのクラの中ひそんでいる。



●カワセミ
【鳥類フツボウク目カワセミ科】
約17cm。鮮やかな青緑色。溪流の宝石と呼ばれ、川、湖、海岸にすむ。「チーツ!!」と囀きながら高速で飛び、ダイビングして長くくちばしで魚をとる。



これからの計画

- 平成24年秋
ワンド周辺の広場を地域の皆さんに開放します。
- 平成24~27年頃
自然な川の流れと潮の満ち干きにより、少しずつ干潟が形成されます。
※干潟形成見学会・説明会なども予定しています。
- 平成28年頃
干潟が完成した後は安全確保のもと立ち入りを可能にします。

ワンドとは
川の本流とつながっているか、増水した時につながる場所を指し、多様な動植物の棲家となっています。

汽水とは
淡水と海水が入り混じっている水域を指します。



✦ ごあいさつ

近木川は、平成5年度と9年度に環境省の調査で水質全国ワースト1になりました。それをきっかけに、流域の貝塚市民の皆さんが清掃活動などの「川づくり」に積極的に取り組んでこられました。

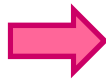
そんな地域の皆さまからの提案を受け、整備を進めてきた近木川の「汽水ワンド」の工事が、今年11月に完了します。

これからしばらくは「川に川をつくってもらう期間」で、川の流れと潮の満ち引きにより、「汽水ワンド」の中に砂がたまり、少しずつ自然に干潟が作られるのを待ちます。このため、「遊びの場」として、また「憩いの場」として親しんでいただけるまでには少し時間がかかります。

それまでの間、まず「汽水ワンド」のことや近木川流域全体での色々な川づくりへの取組みについて知ってもらえるよう、『近木川通信』を定期的に発行していきたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いします。

★汽水ワンドができるまで★

- 平成 5、9 年度 環境省の調査で水質全国ワースト1 を記録
- 平成 11 年 3 月 近木川河口汽水ワンドをつくる会（貝塚市町会連合会、自然遊学館、グリーンカレッジ、近木っ子探検隊、近木っ子会議）が「近木川河口改善計画9902（河口いきいきプラン）」を大阪府知事に提出
- 平成 15 年 11 月～21 年 10 月 近木川ワークショップ開催
- 平成 15 年度 模型実験実施（京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー）
- 平成 16 年度 工事着手
- 平成 24 年 5 月 矢板が撤去され、汽水ワンドが近木川とつながる



● 近木川下流の BOD 値変化（単位 mg/L） ●

BOD とは水質を表す値で、数字が大きいくほど水質が悪いことを示しています。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 年度（平成） | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 平均値 | 25 | 25 | 23 | 19 | 21 | 8.6 | 9.1 | 9.8 | 11 | 8.8 | 7.8 | 7.8 | 7.2 | 6.3 | 6.7 | 5.5 | 3.9 | 4.5 |

※平成 5 年度と 9 年度に、水質が全国ワースト1 でした。



ワンド^{せんたいず}全体図

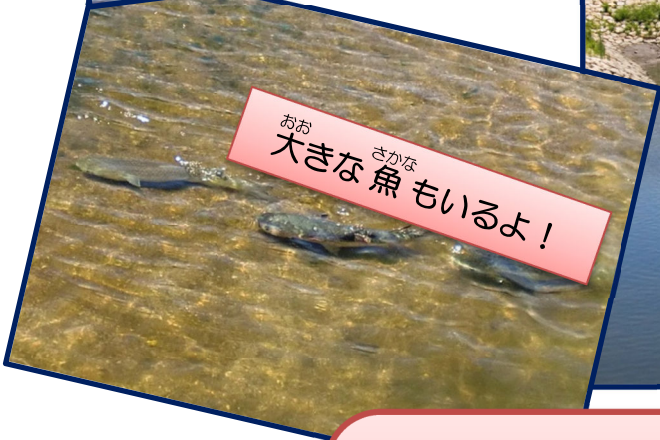
今年5月に近木川と汽水ワンドを仕切っていた板が外されました。これから汽水ワンドの中に砂が流れ込んで、少しずつたまっていきます！



サギでしょうか？



ワンド^{かくだいず}拡大図

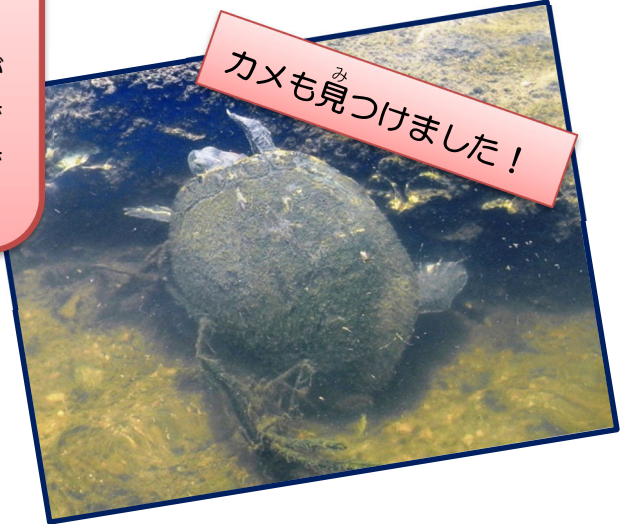


おお
大きな魚もいるよ！

これまでは、近木川の水辺に安全に近づける場所がありませんでしたが、汽水ワンドでは階段や手すりなどが設置され、水面近くまで行くことができ、カニや魚などの生き物も観察できます！！



ハクセンシオマネキ



カメも見つけました！

地域の皆さまと意見交換を行っています

近木川「汽水ワンド」を地域の皆さまと一緒に運営していくことができるように、基本認識を共有し、「汽水ワンド」の形成と運営について、様々な視点から意見を交換し、検討することを目的として、意見交換を行っています。

この意見交換には地元自治会の代表者や学識経験者、市民団体、学校関係者、貝塚市、大阪府が参画して、「汽水ワンド」が子ども達の「遊びの場」や地域の皆さんの「憩いの場」などとして活用されるために、「今何ができるのか、今何をすべきか」をしっかりと議論し、「できることから具体化」していくこととしています。

【近木川汽水ワンド形成の基本認識】

(1) 背景

近木川は、山間部では豊かな自然が残されているが、河口部では市街化が進み、環境省の調査で平成5年と9年には水質ワースト1を記録した。

このような状況を打開しようと、流域において、地域住民や団体（近木川市民フォーラム・花いっぱい運動・近木っ子探検隊・近木っ子会議）等の水質改善に向けた取組みが活発になり、平成11年3月には、（仮称）近木川河口汽水ワンドをつくる会（貝塚市町会連合会・貝塚市立自然遊学館・グリーンカレッジ・近木っ子探検隊・近木っ子会議）から「近木川河口改善計画9902（河口いきいきプラン）」の提案等があった。

このような地域の積極的な働きかけを受けて、自然再生事業として、平成15年度から近木川の河口部における干潟の再生・ワンド整備などの施設整備が具体化した。

(2) 目的

上流部の溪流から河口部の干潟まで、近木川には豊かな自然が残されており、多くの地域住民や団体が親しみを持ち、清掃活動などに取り組んでいる。

このような流域全体を通じた豊かな川づくりに向けた拠点の1つとして、河口部において、「貴重な生態系を保全」するとともに、「環境教育の場」として、また二色浜公園と一体となった地域の人々の生活空間の中での「憩いの場」、子どもの人間形成にもつながる「遊びの場」として活用できるよう、近木川の河口干潟を再生することを目的とする。

皆さまからの情報提供をお待ちしています

近木川の魅力を地域の皆さまと再確認し、共有できるよう、近木川の写真や思い出、最近発見したことなど、『近木川通信』づくりに活用させていただける情報の提供をお待ちしています。次号は、平成24年冬に発行予定です。

【近木川の豆知識】

汽水ワンドとは？

ワンドとは「湾処」と書き、入り江や川のよどみ、水たまりを意味します。

川の本流とつながっていますが、水の流れをコントロールする施設等に囲まれて池のようになっている場所のことで、植物や魚、貝などの安定した生息の場となります。

汽水とは、川の水（淡水）と海水が入り混じる水域を意味します。

汽水ワンドとは、さまざまな動植物のすみ家となる淡水と海水が入り混じった川沿いの水たまりのことです。

